

3月に何日かなごり雪が降り、積もった雪の解ける速さに、春の訪れを感じ、ここ塩尻市にもようやく桜の蕾もほころびそうな春がやってまいりました。学校の敷地内にある桜の木も間もなく、うす桃色の花を咲かせようとしています。今朝は少し肌寒さを感じましたが、それでも新入生の入学を待ちわびるかのようには春は着実にやってきています。

本日ここに長野県塩尻志学館高等学校令和6年度入学式を挙げていただきましたところ、日頃より本校の教育振興に格段のご高配をいただいておりますご来賓の皆様にご臨席を賜り、栄えある入学式に花を添えていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

そして、晴れて入学を許可された203名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。多くの高校の中から、本校を志望し、近年稀に見る高い志願倍率であった今年度の入学者選抜を見事に突破し、夢と希望をもって入学された皆さんを心より歓迎いたします。

本校は、本年度創立114年目を迎える輝かしい歴史と伝統がありますが、今から24年前に、校名を塩尻志学館高等学校に変更し、総合学科高校として生まれ変わりました。近代的な施設、設備の下、恵まれた環境を有し、「真理の探究」「自他の敬愛」「責任の完遂」という3つの教育理念の下、明日への飛躍と発展を期し、教育活動を展開しております。この歴史と伝統に輝く、塩尻志学館高等学校に入学できたことを、まずは大いに誇りに思ってください。

新入生の皆さんにとっては、今は、喜びや緊張とともに、急に世界が広がり、期待と不安が入り混じっている心境かと思われます。小中学校で一緒に学んだ友と離れ、新しい友達ができる躍動の時期です。新しい友達をつくるという意味では、一緒にゲームやSNSでつながる友達を探すのではなく、勉強や部活動など同じ志をもって、同じ方向を向いて努力し、汗を流し、ともに頑張れる友達を探してもらいたいと思います。

そこで充実した高校生活を送るためのヒントをいくつかお話ししたいと思います。

1つめは、「素直であること」です。子どもの頃の素直さをいつまでも忘れず、親や先生方と接してください。いくつになっても「素直であること」は大事なことです。

2つめは、「勇気をもつこと」です。不安に思うことは誰でも同じです。失敗を恐れず挑戦するという勇気が大事です。自分らしく素直に生きることも大切な勇気です。

3つめは、「感謝すること」です。友達、親、先生、地域の方、誰に対しても「ありがとうございます」と言える感謝の気持ち、素直な心が大事です。

4つめは、「感じること」です。人の喜怒哀楽「喜び、怒り、悲しみ、楽しみ」を感じることです。そして感じたら動くことです。そうです「感じて動くこと」まさに「感動する」ことが大事です。この4つをヒントに充実した高校生活を送ってもらいたいと思います。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様の健やかな成長を願い、一喜一憂しながら手塩にかけて養育されたご苦労に思いをいたすと、高校教育をあずかる私ども教職員一同、改めて身の引き締まる思いです。生徒一人ひとりを大切に、その感性や体験を大事にして、自ら考え、成長していけるように支えてまいります。こんにちの社会の急激な変化は、学校教育だけでは背負いきれないものがあります。生徒の皆さんが充実した高校生活を送ることができるよう、家庭と学校の双方がそれぞれの考えを理解して連携を密にしながら、お子様の歩む姿や努力のあとをしっかり見つめ、見守ってまいります。保護者の皆さまにおかれましても、お子様が力強く未来を切り開いていくために、本校の教育活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに新入生の皆さんが、志を高くして、仲間とともに有意義な高校生活を送られることを期待し式辞といたします。